

3. 名古屋の川はきれいなのか？

1) 河川の水質

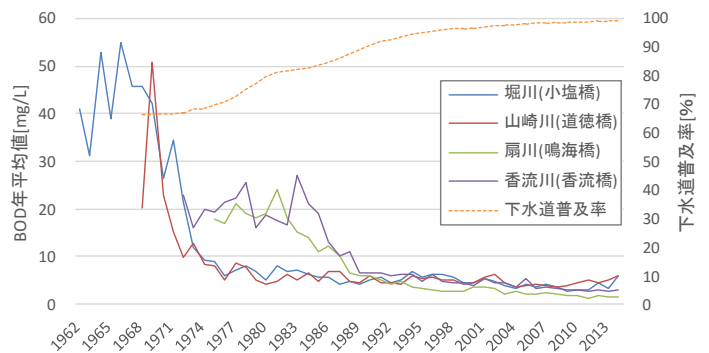
下水道の整備の効果などにより、水質の汚濁状況は、1960年頃と比べるとかなり改善されています。1990年頃からは、ほぼ横ばいの状況です。

しかし、都心部を流れる川の中にはBOD5mg/L以上となっているところもあります。

2014年度の調査結果をみると、環境基準は全ての水域で達成していますが、環境目標値を満たしていないところがあります（環境基準は国が定めた基準値、環境目標値は名古屋市が定めた目標値）。

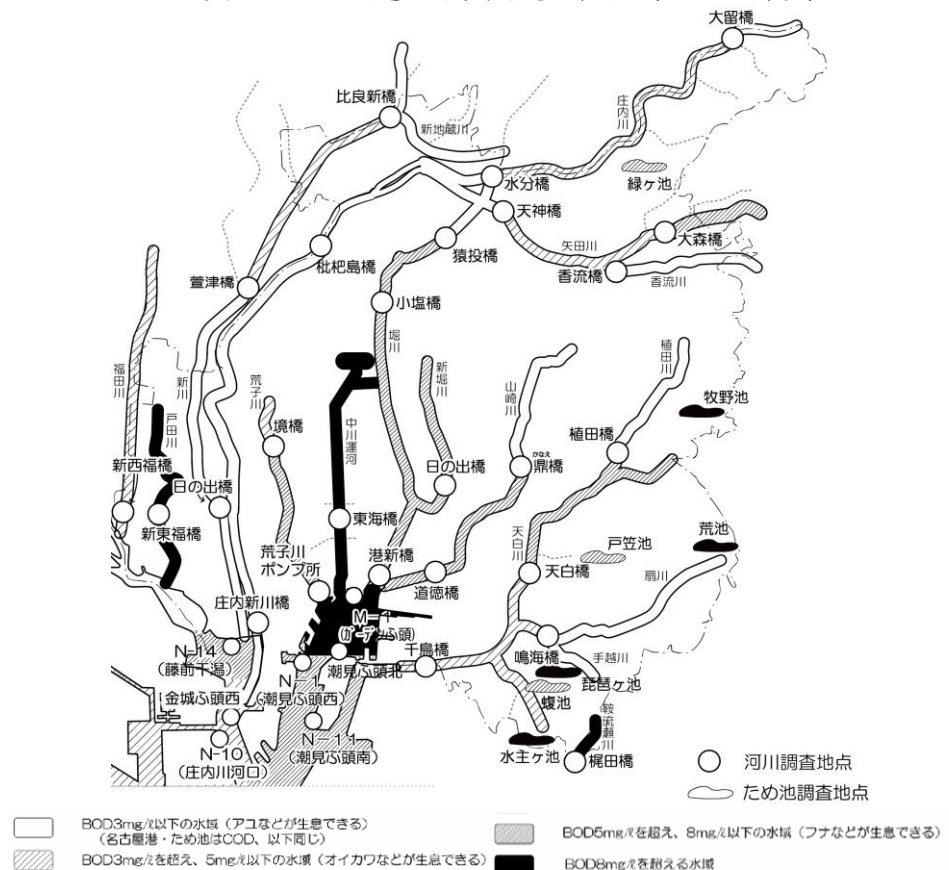
名古屋市内の川の生態系を回復するためには、さらなる水質改善への取り組みが必要です。

＜図表2-4＞河川水質と下水道普及率



資料：名古屋市資料より作成

＜図表2-5＞河川等の水質汚濁の状況（2014年度）



注：BOD75%水質値（ただし海域、ため池はCOD）を示す。

出典：平成26年度 公共用水域及び地下水の水質常時監視結果について（名古屋市、2015）

2) 堀川を見てみると

名古屋城築城の折に造られた堀川は、大正期までは「堀川のはえ（銀ぶな）」が名物となるほど親しまれていました。しかし市街化の進展につれて水質が悪化し、1966年にはBODがピーク（55mg/L）を迎えました。

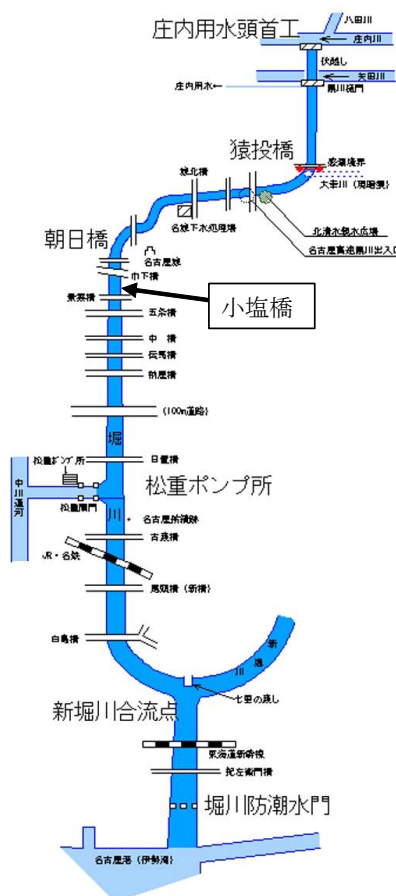
その後、下水処理場の整備などによってBODは5mg/L前後まで改善しましたが、**DO（溶存酸素量）**は**河川整備計画目標**に対して十分ではありません。これは、①川底に堆積したヘドロ、②水源の大半が下水処理水であること、③自己水源を持たない上に河川の勾配が緩いため、潮の干満によって川の流が滞留する、などが主な原因です。

このため、①ヘドロの除去、②合流式下水道の改善、③新規水源の確保が進められています。

（下記は**河川整備計画目標**）

- ・松重橋より上流：川に入って遊びが楽しめる（BOD 3mg/L以下、DO 5mg/L以上）
- ・松重橋より下流：水際の遊びが楽しめる（BOD 5mg/L以下、DO 5mg/L以上）
- ・新堀川：岸辺の散歩が楽しめる（BOD 8mg/L以下、DO 3mg/L以上）

近年は、「堀川1000人調査隊」などの市民団体による水質調査や報告会、清掃活動なども行われています。



<図表2-6>堀川のヘドロ



⇒【DO（溶存酸素量）】

Dissolved Oxygenの略。水中に溶解している酸素の量のこと。水の汚れの程度を測る指標の一つ。

⇒【河川整備計画目標】

「一級河川庄内川水系堀川圏域河川整備計画（名古屋市、2010）」のうち、河川整備計画の目標に関する事項のこと。

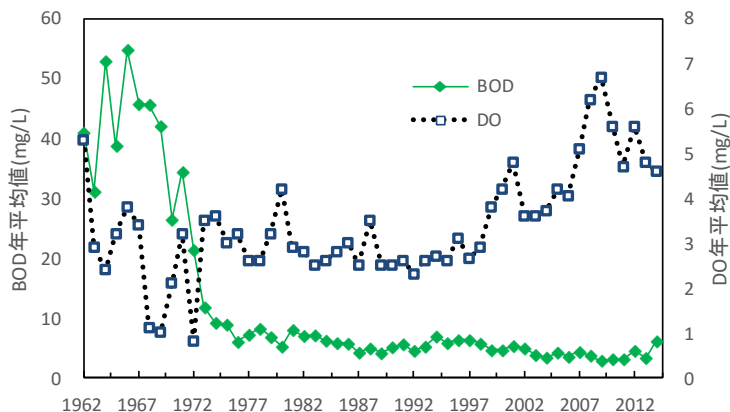
⇒【小塩橋からみた堀川（下流側）】



⇒【堀川のヘドロ】

写真は、COP10開催期間中に、名古屋国際会議場横の堀川から浚渫し、展示していたもの。（2010年10月23日撮影）

<図表2-7>堀川の水質の変遷（小塩橋）



資料：公共用水域及び地下水の水質常時監視結果（名古屋市）および名古屋市資料より作成



堀川 1000 人調査隊 2010

⇒【堀川導水の効果】

<http://www.horikawa-lions.com/topics/2007-09-03-dousuikouka.htm>

2004年に「全名古屋ライオンズクラブ連絡会」が市民に呼びかけて結成された「堀川1000人調査隊」が、2007年4月に第3次調査隊「堀川1000人調査隊2010」を発足させました。隊はこれまで庄内川からの導水による浄化の効果を調査してきましたが、効果は限定的でした。そこで、庄内川よりも水のきれいな木曽川からの導水を求めています。

2007年4月に、念願だった木曽川からの導水社会実験が始まりました。第3次隊は5年計画（導水期間3年、事後調査期間2年）で行われたこの導水社会実験の効果を調べました。

木曽川からの導水の効果は、実験開始から3カ月間で現れました。導水地点から納屋橋付近までの間で、水質を示すBODと水中の酸素量を示すDOの値に改善傾向が見られたのです。さらに、導水中の3年間で、堀川の中流域から上流域で、透視度や水質を示すCODの値が改善されたことが分かりました。また、名古屋市の調査でも堀川に生息する魚類が17種から30種に増えたことが確認されました。

2010年3月、3年間にわたる木曽川からの導水は終了しましたが、調査隊はその後も現在まで継続的に水質調査を実施しています。これまでの調査結果によれば、堀川の水質は木曽川からの導水が停止した直後に悪化しましたが、その後は区間が限られるものの、改善・維持の傾向が確認されています。これは、名古屋市が実施している水質改善施策の効果だと調査隊は考えています。

堀川1000人調査隊の登録者数は2007年の発足時は2,262人でしたが、2015年9月には53,000人を超えており、堀川浄化への市民の関心が高まっています。



提供：名古屋市



出典：堀川1000人調査隊2010HP
<http://www.horikawa1000nin.jp/>